



追手門学院大学
校友会会報

残暑
お見舞申し上げます
六月頃より日本の景気が
少し、上向いてきたように、
私は感じております。
校友会会員の皆様、昨今
如何よろにお過ごしのこと
でしょうか?
お伺い申し上げます。

追手門学院大学第一回の
卒業生各位は社会や御家庭
で活躍され続けてもう直ぐ
六十歳を迎えるのである
うと、御推察申し上げます。

最近、校友会会員のご子
弟が、校友会会員の母校に
入学しているとか、卒業し
た、結婚しました、という
お話を、耳にするようにな
りました。

その中でも、
「孫が母校に通っています
よ」と自慢げに話される方も
いらっしゃいます。

思えば、私のサラリーマ

校友会会員の皆様に 新しい発展に 向かって

会長 小坂井俊夫

会報・第五十五号に私の
初夢を書かせて戴きました。
未来に向かた私の夢は、
本会理事会で討議した結果、
① 校友会館の建設。
② 校友会を有限中間法人
として公式に登録する。
③ ホーム・ページを開設

する。
の三項目が承認されまし
た。

七月十四日、母校の学長後
藤幸男先生を始め母校の中
心的な方々と話し合い、ご
了解を得ました。

今後は、既に組織してい
ます、
「校友会館設立準備委員会」と
「中間法人化準備委員会」
の二回目の会合を進めて、
校友会会員の皆様に、例え
ば校友会館のコンセプトや
規模などについて、早急に、
お知らせし校友会員の皆様
のご要望を組入れ、校友会
会員の皆様の御協力とご支
援のもとに頑張ってゆきた
いと念願しております。

二〇〇四年度、
「将軍山祭」の日取りが
変わりましたので、今まで
十一月三日に開かれており
ました、「ホームカミング・デー」
は、今年は十月三十一日に
学生食堂で開催されます。
お間違の無いように、
ご参会下さい。

初代学長天野利武先生
顕彰碑の前で
十一時半に献花を行います。
どうか、ご参集下さい。

現在、私は、母校の校友
会会长をお引受けして二年
になりました。

「追手門学院大学校友会の

母校は二〇〇八年には、
追手門学院創立一二〇周年
を迎えます。

卒業生である私たちには、

「孫が母校に通っています
よ」と自慢げに話される方も
いらっしゃいます。

思えば、私のサラリーマ

経済学部では、従来の国際経済学科を発展的に改組転換して、二〇〇五年四月から「ヒューマンエコノミー学科」を設置する。

ヒューマンエコノミー学科は、簡単にいえば「人間らしい経済社会」を考えるための学科である。

一、新学科の設置

経済学部では、従来の国際経済学科を発展的に改組転換して、二〇〇五年四月から「ヒューマンエコノミー学科」を設置する。

ヒューマンエコノミー学科は、簡単にいえば「人間らしい経済社会」を考えるための学科である。

第二次世界大戦後の経済発展によって、日本は世界でもトップクラスの豊かな経済・社会を実現した。しかし、バブル経済が崩壊した一九九〇年代以降の不況の中で、多くの人々はさまざまな不満や不安をかかえている。それは、これまで経済や企業の役割を優先するあまり、その中心にあるべき人間の生活や生き方を十分に考えてこなかつた日本経済の仕組みが、二一世紀を迎えた新しい時代には

ヒューマンエコノミー学科の設置にあたって

経済学部長

鈴木 多加史

経済学部では、従来の国際経済学科を発展的に改組転換して、二〇〇五年四月から「ヒューマンエコノミー学科」を設置する。

ヒューマンエコノミー学科は、簡単にいえば「人間らしい経済社会」を考えるための学科である。

一、新学科の設置

経済学部では、従来の国際経済学科を発展的に改組転換して、二〇〇五年四月から「ヒューマンエコノミー学科」を設置する。

ヒューマンエコノミー学科は、簡単にいえば「人間らしい経済社会」を考えるための学科である。

二、新学科設置の目的

経済学部では、従来の国際経済学科を発展的に改組転換して、二〇〇五年四月から「ヒューマンエコノミー学科」を設置する。

ヒューマンエコノミー学科は、簡単にいえば「人間らしい経済社会」を考えるための学科である。

あまり有効ではないだらうか。

そこで、経済を人間の視点、日常生活の視点から考えるのが新しいヒューマンエコノミー学科の第一の狙いでいる。もちろん、経済は網の目のように複雑に絡まっており、国内だけではなく世界中に広がっている。

また、人間を考えることは自分だけのことを考えることではない。世界的な国々とそこに住む人々とのつながり、国際社会との関係や地球全体にも目を向けることが、人間と経済を考えるための基本的な視点でなければならない。このような観点から経済学を学ぼうとするのが、ヒューマンエコノミー学科なのである。

三、新学科の専攻領域

ヒューマンエコノミー学科は、三つの専攻領域を用いて、各専門分野を持つ現状である。

経済学部は従来、広く経済学の知識を身に付けたゼネラリストを養成し、広い分野に人材を供給してきた。

経済学部は現在もそれを意図している。

ヒューマンエコノミー学科が目指しているのは、経済学部を構成する学科であるからそれが経済学の基礎を十分に身上に付けることは当然で、その上に何か

意している。その第一は、人間と経済を結びつける最も身近な場である「生活」を基点として考える「生活・経済領域」である。人間と経済・社会の結節点として、生活に関わる多様な経済問題を総合的な観点から学習する。

第二は、人間の経済活動と環境の関係を考える「環境経済領域」である。経済活動の環境への影響から地球規模の環境問題まで、その理論的基礎と政策論を学び、環境経済に関する専門的・応用的研究を行う。

第三は、国際的視野に基づいて、全国各地域の経済と社会を比較論的な観点から学ぶ「比較経済社会領域」である。経済社会の多様な側面を地球規模の視点から考えるために、その基礎理論と政策・歴史を多角的に学習する。

このそれぞれの領域について、特色ある課目が開設されることになっている。

ただ、この三領域は、かたい枠組みで縛られているわけではなく、あくまでも方向性を示しているものであ

る。学生諸君は自身の興味や希望する進路によって科目の組み合わせをかなり自由に設定することができる。

四、卒業後の進路

経済学部は従来、広く経済学の知識を身に付けたゼネラリストを養成し、広い分野に人材を供給してきた。

経済学部は現在もそれを意図している。

ヒューマンエコノミー学科が目指しているのは、経済学部を構成する学科であるからそれが経済学の基礎を十分に身上に付けることは当然で、その上に何か

意している。その第一は、学生諸君は自身の興味や希望する進路によって科目の組み合わせをかなり自由に設定することができる。

四、卒業後の進路

経済学部は現在もそれを意図している。

ヒューマンエコノミー学科が目指しているのは、経済学部を構成する学科であるからそれが経済学の基礎を十分に身上に付けることは当然で、その上に何か

意している。

四、卒業後の進路

経済学部は現在もそれを意図している。

ヒューマンエコ

平成16年度 収支予算書

平成16年4月1日から
平成17年3月31日まで

単位 円

科目	予算額	前年度決算額	差異
収入の部			
会 費	55,120,000	56,680,000	△ 1,560,000
受 取 利 息	40,000	44,732	△ 4,732
雑 収 入	0	0	0
大 学 周 年 事 業 寄 付 金	0	0	0
校 友 会 会 員 名 簿 関 係	30,000	75,000	△ 45,000
収 入 の 部 合 計	55,190,000	56,799,732	△ 1,609,732
支出の部			
一 般 経 費			
人 件 費	900,000	832,200	67,800
会 報 印 刷 費	1,500,000	1,485,802	14,198
そ の 他 印 刷 費	300,000	174,955	125,045
通 信 費	6,000,000	6,307,515	△ 307,515
交 通 費	30,000	0	30,000
消 耗 品 費	30,000	11,921	18,079
会 議 費	50,000	33,810	16,190
賃 借 料	30,000	21,000	9,000
慶弔 用 費	20,000	10,000	10,000
名 簿 完 備 費	1,300,000	1,207,261	92,739
事 務 費	0	0	0
用 品 費	0	0	0
雑 費	10,000	2,640	7,360
公 租 公 課	20,000	8,017	11,983
卒 業 記 念 品 代	8,600,000	8,568,000	32,000
学 友 会 活 動 援 助 費	500,000	0	500,000
大 学 祭 援 助 費	200,000	200,000	0
支 部 設 立 準 備 費	100,000	0	100,000
支 部 援 助 費	200,000	0	200,000
国 際 交 流 費	150,000	0	150,000
寄 付 金	0	3,000,000	△ 3,000,000
財 団 設 立 準 備 基 金 繰 入	25,000,000	42,036,059	△ 17,036,059
[予備費]	100,000	0	100,000
支 出 の 部 合 計	45,040,000	63,899,180	△ 18,859,180
当 年 度 収 支 超 過 額	10,150,000	△ 7,099,448	17,249,448
前 年 度 繰 越 収 入 超 過 額	0	3,297,302	△ 3,297,302
前 年 度 繰 越 支 出 超 過 額	3,802,146	0	3,802,146
次 年 度 繰 越 収 入 超 過 額	6,347,854	0	6,347,854
次 年 度 繰 越 支 出 超 過 額	0	3,802,146	△ 3,802,146

平成15年度 決算書

貸借対照表

平成16年3月31日

校友会	単位 円			
資産の部	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	586,094,032	544,057,973	42,036,059	
その他の固定資産	586,094,032	544,057,973	42,036,059	
財團設立準備基金(特定預金)	586,094,032	544,057,973	42,036,059	
流動資産	52,842,831	66,708,699	△ 13,865,868	
現金預金	52,842,831	66,708,699	△ 13,865,868	
資産の部合計	638,936,863	610,766,672	28,170,191	

負債の部	科 目	本年度末	前年度末	増 減
流动負債	56,644,977	63,411,397	△ 6,766,420	
未払金	88,770	55,190	33,580	
前受金	55,200,000	62,000,000	△ 6,800,000	
義援預り金	1,356,207	1,356,207	0	
負債の部合計	56,644,977	63,411,397	△ 6,766,420	

基本金の部	科 目	本年度末	前年度末	増 減
財團設立準備基金	586,094,032	544,057,973	42,036,059	
基本金の部合計	586,094,032	544,057,973	42,036,059	

消費収支差額の部	科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越 消費収入超過額		0	3,297,302	△ 3,297,302
翌年度繰越 消費支出超過額		3,802,146	0	3,802,146
消費収支差額の部合計	△ 3,802,146	3,297,302	△ 7,099,448	

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	638,936,863	610,766,672	28,170,191

平成16年6月6日

追手門学院大学 校友会 平成15年度決算
会計監査報告公正なる監査の結果、別紙諸計算書は、平成15年4月1日より、
平成16年3月31までの校友会の保有する財産及び収支の状況
を正しく示しているものと認め、ここにご報告いたします。

追手門学院大学校友会

監事 村井秀郎
監事 阿部敏夫

平成15年度の決算について

校友会終身会費は、卒業される時に、全員納入することを在学生の校友会と協定してから平成14年度まで、完納してもらっていました。が今回、初めて49名の方々が未納になってしましました。そのことが判ったのは5月。既に、卒業記念品をお渡しし、校友会への会員登録も済み、今回の会報も送付。まだ、どなたが未納なのか、不明なのです。来年度は、こうならないようにと願っております。

資金収支計算書

平成15年4月1日から
平成16年3月31日まで

校友会	単位 円			
収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
一般収入		56,710,000	56,755,000	△ 45,000
会費収入		56,680,000	56,680,000	0
名簿収入		30,000	75,000	△ 45,000
資産運用収入		50,000	44,732	5,268
受取利息配当金収入		50,000	44,732	5,268
前受金収入		0	55,200,000	△ 55,200,000
前受金収入		0	55,200,000	△ 55,200,000
資金収入調整勘定		0	62,000,000	62,000,000
前期末前受金		0	△ 62,000,000	62,000,000
前年度繰越支払資金		66,708,699	66,708,699	
収入の部合計		123,468,699	116,708,431	6,760,268

収支計算書

単位 円

収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
会 費		56,680,000	56,680,000	0
受 取 利 息		50,000	44,732	5,268
雑 収 入		0	0	0
大 学 周 年 事 業 寄 付 金		0	0	0
校 友 会 会 員 名 簿 関 係		30,000	75,000	△ 45,000
収入の部合計		56,760,000	56,799,732	△ 39,732
支出の部				
一般経費				
人 件 費		900,000	832,200	67,800
会 報 印 刷				

表記の法律は平成十五年五月三〇日に、施行された法律第五七号です。本会が保有している皆様の「個人情報」は、本会の会則に定められた目的以外に使用すると「民間団体による個人情報の保護の推進」に、該当する部分が出てくると考えます。

本会は、大阪府弁護士会副会長を務めた弁護士に、相談した結果、

本会保有の個人データを、第三者提供の制限につき、法律条文に従つて考えてみますと、「覚書」を、本会の個人情報を利用する第三者団体と交す必要があると指摘されました。また「覚書」を交す前に、校友会報で全校友に告知する、即ち、校友会員の了解を得ておく必要がある事も、教えて戴きました。

本報で校友会員皆様のお考えをお聞かせ戴きたく、その旨を掲載しました。

本会の個人情報は、専ら

研究課題の一つは個人を取り巻く環境に働き掛け、家庭・学校・地域社会の、教育機能を明確化し援助のネットワークを作り地域と連携して個人を支援します。

第二は心理的問題を抱える個人に対し、最善の支援方法は何かを心理臨床的な実践と考察を活かして、各機関と連携し、支援します。さらに高度に訓練された臨床心理専門家の養成です。大学の副門前に三階建てセンターを建設中です。来年三月竣工予定です。

オーブン・キャンパス
十月一日、母校で開催されます。お出かけ下さい。

母校だより

二〇〇五年四月より

経済学部と経営学部に

新学科が誕生。

詳しくは、本会報の

二、三頁を参照して

下さい。

地域支援心理研究センター

新しく設置

翼樹理さん(二〇〇二年卒)
アテネ五輪に出場!
吉報をお届けできるはず。

学校法人追手門学院は格付

長期優先債務格付Aを獲得。

「入試説明会」各地で開催

九月五日(広島)七日(高知)十三日(金沢)十四日(富山)十五日福井と大阪天王寺)、二十五日は大阪梅田と府立体育館、二十六日(京都)二十七日(福山)二十八日(広島)二十九日(香川)三十日(姫路)

十月一日(淡路の洲本)

十一月(十一月一日まで)

公募制推薦(A日程)
論文A・入試

十九日

公募制推薦(A日程)
自己推薦・商工入試

二十二日

公募制推薦(B日程)
論文B・入試

二十三日

冬期休業(一月七日)

二〇〇五年

一月十五日、十六日

大学入試センター試験

二十一日

秋学期末試験

二月五日、六日

一般入試(A日程)

七月、八日

一般入試(S日程)

ホームページ (HPと略)について

校友会に次のような投書

が送られてきました。

ある卒業生です。

ヤフーで母校の同窓会の

ホームページを見ると、

山桜会が出てきますが、

おかしいと思います。

早く大学のホームページ

を作つて下さい。

ではよろしくお願ひしま

す。(匿名)

当校友会は、HPを開く

ことを本会理事会で決定し

現在準備中です。

近く試験発信をして、

実施に踏み切ることにして

います。

現在、アドレスを考え

ています。どうか、しばらく、

お待ち下さい。

校友会員の皆様には、

本年末までにお知らせしま

す。

校友会会員に お願い

があります

追手門学院大学の校友会

会報を充実させるために、

ぜひとも、校友会会員各位

のご投稿をお待ちしています。

一行十二字、一段三十三行。

表題、ご氏名、ご卒業年度、

学部学科で七行取りります。

どうか、お願い致します。

次の場合は必ずお知らせ

下さい。変更のお届けは、

ファックスか葉書でお願い

致します。会員番号を必ず

お書き添え下さい。

①ご結婚によるご氏名の改姓やご変更。

②転居や転勤された場合。

③郵便番号、地名などが、

変更した場合。

④電話番号の変更。

⑤勤務先を変えられた時。

⑥海外に赴任される場合。

⑦その他

以上よろしく

校友会事務局

「個人情報の保護に関する法律」についての「覚書」

本会会則第二章第四条、「本会は、会員相互の親睦を厚くし、母校との関係を密にし、母校の発展に寄与することを目的とする」に従つた活動以外には使用しないように厳重に管理していくま

す。

いま、大学当局から最も急かされていることがらは、創立一二〇周年記念事業に関する諸事業を推進していく上で、学校法人追手門学院、特に私たちの母校が、校友会会員名簿原簿の利用を望んでいることあります。

母校が、卒業生である校友会会員に伝えたることは、一つには、創立一二〇周年記念の諸事業に

関しての周知。校友会は、許される限り進するためには必要な募金活動。

こうした事がないように校友会役員は考慮した上、電話で、強く申し込まれてきました。

これは文書で、時には、

電話で、強く申し込まれてきました。

このことについて広く、校友会員の皆様からご意見やお考えをお聴き致したい

と思い、ここに一文を本報に掲載致しました。どうか忌憚の無いお考えを、本会会長宛てにお送り下さい。

校友会活動の基本(二)

寄与したいと考えています。そのため、校友会会員の個人情報を、出来るならば、母校の発展に寄与するものと位置付けて、母校に利用して戴ければと思つておりますが、以前に、何度か、個人情報の漏洩を校友会会員から指摘、指弾された事がありました。

それだけでなく、校友会会員の名簿原簿から省いて戴かれていた方や、母校に勤務されている方は、四四三万七千二百四十名です。

そのうち、特別会員数は、五五七名です。今も生きています。

住所不明の方が三十二名

勤務されている方は、八名で百七名の方々は他界されています。

正会員数、卒業生総数は三万四千百八十名の他に、

正会員が二千三百十名です。

校友会事務局は、例えば、

六十三名、住所不明の、正会員が二千三百十名です。

校友会会報をお送りしますと新しく千通以上が、

会員のお手許に届かず、返送されます。

返送されて来た封書の、表には、会員の個人番号が記されています。

個人番号に従つて封書を卒業年度、学部、学科別に

分類し、更に若い番号から並べ直します。

それから、「校友会会員名簿原簿」と照合し、時には、保存してある学生名簿を繰り、学生時代の実家を調べます。

勤務先などが判明したら、いよいよ問い合わせを開始しますが、最近は勤務先に電話を掛けると取り次いでもらえない。

住所不明会員の電話番号が転居前のものであつたりしますと新しい電話番号を登録されますが、新規登録されることもあります。

また、電話局に登録されていて、新しい電話番号を教えてもらい、電話して、教えてもらい、電話番号を登録することもあります。

以前は、ご両親から、学生名簿の親元に電話して、判明することもあります。

「いまさら、学校と関係がないのに、何を問い合わせてくるのか」と教えて下さらなかつた場合もありました。最近はご理解を戴いています。



母校の大学図書館南側に、私たちの校友であり、既に太宰治賞や芥川賞を受けた宮本輝さん(本名・正仁)のミュージアムを開設する旨、大学当局より連絡があり、そのための協力金拠出を、本会と教育後援会、父母の会に申入れがありました。昨年十二月十八日の本会理事会で検討致しました結果、三万五千名弱の校友会員のみなさまに、お願いしようと言うことになりました。

つきましては、同封の、「郵便振替払込取扱票」をご使用になりますと手数料無料です。

下記の要領をご了解の上、どうか協力下さいますよう、重ねてお願い申し上げます。

母校図書館に 宮本輝さんのミュージアム 建設開館へのお願い

「宮本輝ミュージアム」の
協賛金の募金に関する
募金目標額 一千万円
一口の金額を 三千円
一万円
五千円

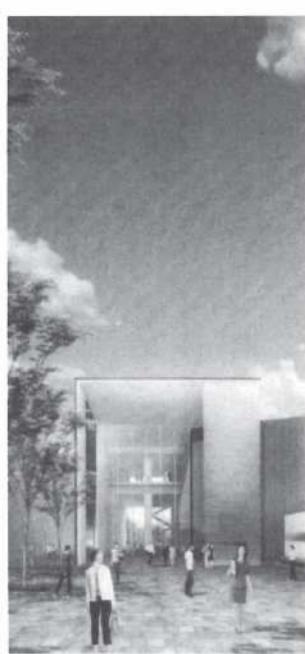
とし、それぞれ何口でも。
口数の多いほど歓迎します。
募金をして下さった校友
会員のご氏名は次号からの
「校友会会報」に掲載させ
て頂きます。

万円、氏名掲載をお望み
でない校友会会員は、その
旨をお知らせ下さい。

会長 小坂井 俊夫

構想 宮本輝 ミュージアム

大学から示された構想は
平成二十年(二〇〇八年)
に迎える追手門学院百二十
周年記念の先行事業として



平成十七年(二〇〇五年)
四月の開設を目指し図書館
改修工事を進めています。
改修工事の一環として、
エントランスに面するメイ
ンアリウム内に本学が誇る
卒業生・宮本輝氏の著作や
原稿その他を集めた「宮本
輝ミュージアム」が実現す
る運びとなりました。
このミュージアムは宮本
輝氏の著作などを通して、
図書館を利用される学生や
市民の方々に感動と共感の
場を提供することを目的と
しております。

更に追手門学院大学では
図書館の利用度を高めて、
学院のシンボルとして学院
内外へのアピールも兼ねた
いと考えております。

今後とも、学院関係者の
ご支援をいただきますよう、
お願い申し上げます。

現在は、検討中ですが、ア
トリウムの壁一面に展示す
ます。

一号館前の広場に面し、
開放的なアトリウム空間と
抜けの、大きな空間となり
ます。

現在の二階閲覧室が吹き
抜ける、大きな空間となり
ます。

宮本輝ミュージアムを開設
する予定です。

現在、検討中ですが、ア
トリウムの壁一面に展示す
る予定です。見易いこと、
手に取り易いことを念頭に
置き、利用者が親しめる様
インパクトがあり、丁寧な
デザインを目指します。

展示方法

宮本輝氏の全著作、自筆原
稿、インターネットビデオ、
愛用品、原作映画の上映等。
(以上は母校当局よりの
お知らせから抜粋)

追手門学院創立120周年記念 追手門学院大学経営学部マーケティング学科開設記念 第一回 追手門学院大学「特色ある教育」シンポジウム開催のご案内

経営学部では、2005年4月よりマーケティング学科を開設いたします。「市場は戦場、武器はマーケティング」の合言葉をもとに、これまで培ってきた経営学部での「特色ある教育」の実績を背景に、新学科の教育方針として「体験型・参画型教育」を展開して参ります。

そこで、本シンポジウムでは、マーケティング学科における教育についてご理解を深めていたたくとともに、「体験型・参画型教育」の発展方向を探ること、を目的に開催いたします。ご参加は無料でございます。皆様の多数のご参加を心よりお待ちいたしております。

開催日・場所

2004年9月29日(水)
ドーン・センター 7階大ホール
〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前1-3-49 Tel 06-6910-8500

プログラム

13:30	開 場		
14:00~14:10	開 会	挨 捧	追手門学院大学学長 後藤 幸男
14:10~14:45	追手門学院大学 学生による成果発表	1. フットボール・クリニック・プロジェクト 2. スノーボード・プロジェクト 3. トミヤマ・プロジェクト	
14:45~15:00	休 憩		
15:00~15:45	基 調 講 演	加護野 忠男 氏 神戸大学大学院経営学研究科教授 企業家研究フォーラム副会長 「実践と学校：ベンチャー経営者を育てる」	
15:45~16:45	パネル・ ディスカッション	パネリスト 神戸大学大学院経営学研究科教授 加護野 忠男 氏 兵庫県立大学経営学部教授 小西 一彦 氏 追手門学院大学客員教授 大野 長八 氏 司会 追手門学院大学副学長 西岡 健夫	
16:45	閉 会		
17:15	懇 談 会		

本シンポジウムには、以下の諸団体よりご協力をいただいております。

関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会
茨木商工会議所、北大阪活性化協議会、彩都総合研究所
追手門学院大学教育後援会、追手門学院大学校友会
追手門学院校友会山桜会、追手門学院大学卒業生父母の会
追手門学院大学経営学会

参加申し込み先

氏名、住所、電話番号、卒業年次・学部学科、懇談会の出欠をご記入の上、以下のいずれかでお申し込み下さい。(差し障りがなければ現在の勤務先をご記入下さい。)

電子メール : sym-ma@otemon.ac.jp
FAX : 072-643-9432
郵送先 : 〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 追手門学院大学教務課
「特色ある教育シンポジウム準備委員会」宛
締め切り : 9月20日(月)

お問い合わせは、教務課経営学部係(Tel 072-641-9617)までお願いします。

校友からの便り

田中重治

先生が学院長の

天野利武先生が学院長の時代に、文学部心理学科で

(校友会事務局より)

野吉宏

母極力

校友會館

母校を訪ね、夕暮れのベンチで罐コーヒーを飲んでいますと、青春の出来事が脳裏をかすめ「また一年頑張つて元気で帰つてこいよ」という母の声に似た声が母校の校内から聞こえます。聴く所では大学創立四〇年、学院創立一二〇年とか。天野先生からお聞きした大学創設時に追手門学院は一致団結したとか。今回もそうあつて欲しいと心から願っています。

私は、九月に右記の本を出版しました。出版活動は在学中からしていました。その頃の学生課の職員は、ご存じだと思います。

現在は、出版洪水。この本を出した日に二八〇冊のタイトルの本が出版されています。今回の新作は、読者ターゲットも広く校友会会員各位も楽しんで戴ける本に仕上がっているのではないかと、自負しております。どうぞ、この本が「新刊洪水」の波の中に、溺れてしまわないようお力添えを戴ければ幸甚の至りです（定価三千円と税）問合せ神戸市中央区江戸町九八の一の一七〇七

翼 様理さん アテネ・オリンピックで銀メダル獲得 経済学科国際経済科を、平成十四（二〇〇二）年卒の翼さんは、シンクロナイズ・スイミング日本チームのキャプテンとしてアテネに遠征しオリンピックで銀メダルを獲得しました。校友会会員の大支援が、アテネの空にも届いたようです。

学位授与式（大学卒業式）
学外で挙行
母校が開學されて以来、
学位授与式が初めて学外で
挙行されます。
來たる三月二十四日(木)
「大阪国際会議場」で行わ
れます。
入学式は、開學当初の、
昭和四十一（一九六六）年
昭和四十二（一九六七）年
の二回、学外で行なわれま
した。

建設する場所を考えました。今、話に出てる校友会館の規模は、歴史資料の保管場所（倉庫）と事務室、小会議室（二十名程度）、大会議室（五十名程度）、ぐらいの会館を第一期建設工事とし、将来は二百名を収容するホールを竣工させ母校の授業やゼミに活用、また教育後援会・父母の会、校友会員の会合などに、利用して貰い、更に地域の茨木市民に使用して貰える存在にしたいと話し合っています。

また、お知らせ致します。
（小坂井 俊夫）

(中野吉宏
(五九・経営)
(校友会事務局より)

昨年の九月十五日に、第三書館発行の、右のタイトルの華麗な本が中野吉宏氏から本会に送られて来ました。本に添えられた書信を要約し、掲載します。

私は、九月に右記の本を出版しました。出版活動は在学中からしていました。その頃の学生課の職員は、ご存じだと思います。

現在は、出版洪水。この本を出した日に二八〇冊のタイトルの本が出版されています。今回の新作は、読者ターゲットも広く校友会会員各位も楽しんで戴ける本に仕上がっているのではないかと、自負しております。どうぞ、この本が「新刊洪水」の波の中に、溺れてしまわないようお力添えを戴ければ幸甚の至りです。(定価三千円と税)問合せ神戸市中央区江戸町九八の一の一七〇七

母校副正門前にページュ色をした三階建ての「地域支援心理研究センター」がその姿を現しました。三月二十八日に竣工式が行なわれます。

今後は、施設を活用して地域市民に、大学での研究を行なわれます。

巽樹理さん
アテネ・オリンピックで銀メダル獲得

経済学科国際経済科を、平成十四(二〇〇二)年卒の巽さんは、シンクロナイズド・スイミング日本チームのキヤブテンとしてアテネに遠征しオリンピックで銀メダルを獲得しました。校友会会員の大聲援が、アテネの空にも届いたようです。

センターラ竣工
昨年六月六日の理事会で
学校法人追手門学院創立百
二十周年の記念に呼応して
追手門学院大学校友会会館
建設を目指そうという決定
がなされ建設準備委員会を
組織しました。十月には、
校友会会館建設場所を母校
の中で検討。また、十二月
十八日の理事会開催の前に、
母校を訪ね、改めて会館を
建設する場所を考えました。
今、話に出ている校友会
会館の規模は、歴史資料の
保管場所（倉庫）と事務室、
小会議室（二十名程度）、
大会議室（五十名程度）、
ぐらいの会館を第一期建設
工事とし、将来は二百名を
収容するホールを竣工させ
母校の授業やゼミに活用、
また教育後援会・父母の会、
校友会会員の会合などに、
利用して貰い、更に地域の
茨木市民に使用して貰える
存在にしたいと話し合つて
います。
また、お知らせ致します。
正会員数二月二十日現在
三万六千六百五十三名
永眠・住所不明会員数
五千三名